

第71回仙台市中学校総合体育大会について

1. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
2. 主管 仙台市中学校体育連盟柔道専門部
3. 目的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。
4. 日時 令和4年6月11日（土）～12日（日）

6月11日（土）	6月12日（日）
【男女団体戦 予選・決勝】	【男女個人戦】
7:00 役員集合・会場準備・点検	7:00 役員集合・会場準備・点検
8:00 開場 受付	8:00 開場 受付
8:20～8:45 男女団体戦 非公式計量	8:20～8:45 男女個人戦 非公式計量
8:45～9:15 公式計量 柔道衣検査	8:45～9:05 公式計量 柔道衣検査
9:15～9:45 監督会議	9:05～9:35 監督会議
9:45～9:55 開始式	9:35～9:45 開始式
10:00～ 男女団体戦 競技開始	9:50～ 男女個人戦 競技開始
男女団体戦が終わり次第 男女団体戦表彰式	男女個人戦が終わり次第 男女個人戦表彰式
※エントリー数によって、試合方法の変更あり	※エントリー数によって、試合方法の変更あり

5. 会場 宮城県武道館（仙台市太白区根岸町15-1 TEL 249-1216）
6. 参加資格
 - ① 各学校長の責任の上、選手に参加の意思を確認し、保護者から承諾を得たうえで、大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン（PDF）に沿って、下記を提出した生徒であること。（感染拡大予防ガイドラインは仙台市中学校体育連盟 web サイトよりダウンロード。）
 - i 健康チェックシート（様式1-1，大会当日受付に提出）
 - ii 学校同行者一覧表（様式1-2，大会一週間前までに委員長までデータで提出）
 - iii 参加同意書（様式2，大会前までに学校長へ提出）
 - iv 体調記録表（柔道部会が独自に定めた様式，大会当日受付に提出）
 - ② 大会参加に支障があると判断した際は、無理に参加をさせない。選手が風邪の症状等、体調不良の際は免疫低下が懸念され、新型コロナウイルスに感染する可能性が高まるため休養を優先にし、参加させないよう各校で指導する。
 - ③ 大会当日、体温が37.5℃以上またはせき・だるさ等の体調不良が確認された場合、専門部として入場を認めない場合がある。
 - ④ 仙台市内の中学生で、6ヶ月以上の柔道修行者であること。なお、特に1年生がその条件を満たさない場合があるので、大会に参加する1年生については「初心者の大会参加に関する同意書」を提出した生徒であること。「初心者の大会参加に関する同意書」は大会当日受付に提出すること。
 - ⑤ 個人情報の取り扱いについて次のことに同意すること。大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報

報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。

7. 種目 ① 男子団体戦

各校1チーム出場。1チーム5名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員3名を登録できる)

② 女子団体戦

各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員2名を登録できる)

③ 男女個人戦 ①エントリーは各階級4名以内とする。

男子 50 55 60 66 73 81 90 90超

女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規程」, 今大会申し合わせ事項によって行う。柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りを不可とする。(公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

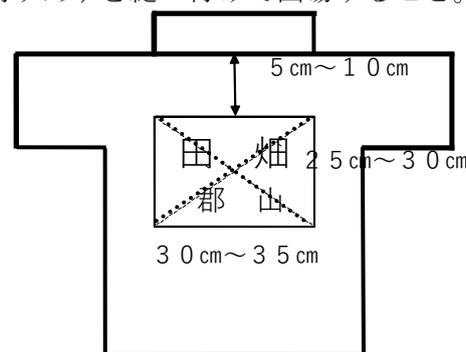
9. 計量及び柔道衣点検

【計量】

- (1) 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- (2) 公式計量は1回とし、再計量は一切認めない。
- (3) 公式計量の服装については、男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下穿きとする。※包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- (4) 公式計量において、不正・偽装行為(競技役員の指示なく、体重計から降りる等)が競技役員によって確認された場合、該当選手を失格とする場合もある。

【柔道衣点検】

- (1) 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(新規格の赤色のマーキングのもの)
- (2) 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - ① 布地は白(晒, 太綾)とする。
 - ② サイズは横30~35cm, 縦25~30cmとする。
 - ③ 名字(姓)は上側2/3, 学校名は, 下側1/3とする。
 - ④ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - ⑤ 文字色は, 男子は黒色, 女子は濃い赤色とする。
 - ⑥ 縫い付け場所は襟から5cm~10cm下部の位置で, 周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (3) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖・丸首・無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める



規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

(5) 胸マーキング等について、道場名等は不可とする

※ この際、柔道衣が規定に合わない、ゼッケンの対角線縫いがないなど、不備がある場合は失格となる。事前に各学校においても顧問の先生から出場選手へのご指導の徹底をお願いいたします。

※ 袖や裾が長い場合、折り返して縫い付ける柔道衣が見られますが、認められない。

10. 競技方法 (1) 団体戦

① 男女とも、参加チームによる予選リーグ方式を行い、各組の上位チームによってトーナメント方式を行う。（参加校数により変更あり）

② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。

③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

④ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。

ア 記録本部に提出する。

イ 委員長に提出。

ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。

※ ただし、提出締切は以下の通りとする。

i アは、試合開始の1試合前までとする。ただし、連戦の場合、決勝トーナメント1試合目、準決勝、決勝は試合が始まる前までに提出する。

ii イ、ウは、試合が始まる前までとする。ただし、準決勝、決勝は除く。

⑤ 試合時間は3分間とする。代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

⑥ 勝敗の基準は、「一本」、「技あり」または「僅差（指導差2）」以上とする。

⑦ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦では、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。

⑨ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う）。

⑩ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

① 各階級トーナメント方式とする。

② 試合時間は3分間とし、**延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。**

③ **優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2以上）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合、「指導」の差がついた時点で勝敗を決する。**

11. 引率及び監督等

(1) 監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員（※1）とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

① 満20歳以上であること。

② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。

③ 他校と兼務していないこと。

④ 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。

⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

⑥ 部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」（※2）がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務第2 留意事項(3)(4)より。

(2) 大会では外部コーチをおくことができる。ただし、外部コーチは出場校の校長が認めたものとし、令和4年「外部コーチ申請書」を申請したもの。コーチの条件とは次の通りである。

① 当該校の校長が認めた者。

② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導していた者。

③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。

④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。

⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※ 大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。

(3) 健康チェックシート（様式1-1）を大会当日に提出すること。

12. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、5月6日（金）16:45まで必着で、仙台市立郡山中学校・田畑宛てにデータ・原本をC4th（郵送でも可）で提出。C4thが導入されていない学校は、郡山中のメールに送ること。

13. 抽選会 5月11日（水） 午後3:00～ 於 仙台市立鶴谷中学校

14. 表彰 (1) 男子・女子団体戦

優秀校は、男女とも第3位まで表彰する。今大会の結果は、県大会のシードに反映する。なお、出場チーム数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

(2) 男子・女子個人戦

優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。なお、出場人数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

出場選手が少ない場合の団体の表彰（内規）

参加者数5チーム以上	参加者数4チーム	参加者数3チーム	2位まで表彰
3位（ベスト4）まで表彰	3位まで表彰	2位まで表彰	1位まで表彰

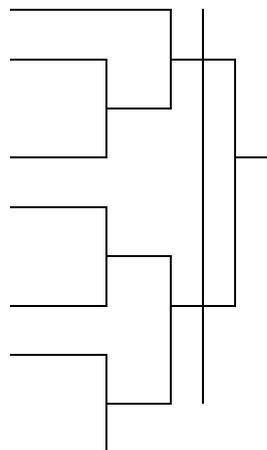
出場選手が少ない場合の個人の表彰（内規）

参加者数8名以上	参加者数7名～3名	参加者数2名～1名
3位（ベスト4）まで表彰	2位まで表彰	1位のみ表彰

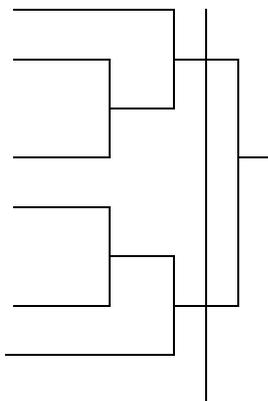
<内規の基準>

- ・入賞選手を決定するための決定戦は行わない。
- ・7名以下の場合の表彰は以下の通りとなる。

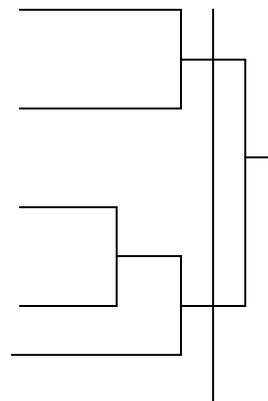
●参加選手7名→2位まで



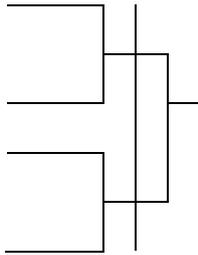
●参加選手6名→2位まで



●参加選手5名→2位まで



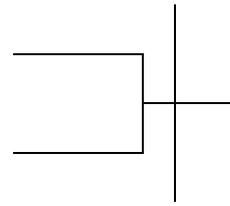
●参加選手4名→2位まで



●参加選手3名→2位まで

リーグ戦

●参加選手2名→1位のみ



※ 棄権により人数が少なくなった場合でも大会にエントリーした選手の数に即して表彰を行う。

(例) 当初8名だった(トーナメント表には8名の図がある)が、棄権により7名になった場合には、3位(ベスト4)まで表彰を行う。

15. その他

- (1) 監督・コーチの先生方の服装は、審判に準ずる服装とする。
- (2) 各校において選手の登録については「大会参加に関する同意書」において選手・保護者の大会参加への同意を得ることとする。また、大会10日前からの体調について体調記録表に記載したうえで、顧問・選手・外部コーチ分を顧問が一括して各入口で提出し、確認ができた学校から入場とする。(大会役員を兼務する顧問は、選手等と入館する際に提出。)
- (3) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - ① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚、至急専門医の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。
- (4) 今大会は各学校から1名、保護者から大会サポート(以下保護者サポートとする)派遣する。なお、保護者サポートを派遣できない学校の保護者の入場は認めない。
- (5) 大会関係者には保護者サポートは含まれる。大会役員と同じようにネームプレートをつける。なお、大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。その際は、他の保護者が代替する。
- (6) 大会関係者・生徒の人数が決まり次第、各学校の保護者の人数を均等に決める。
※コロナウイルスの感染状況で無観客になる可能性もあり得る。
- (7) 大会参加前に参加予定校において新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、必ず仙台市柔道専門部委員長へ報告することとする。
- (8) 駐車場での事故等に関しては一切の責任を負わない。
- (9) 外部コーチ申請書を提出した顧問の先生は、大会当日の外部コーチの出欠を確認し、大会一週間前までに、郡山中の田畑まで報告を必ずお願いいたします。
- (10) 大会の進行や選手の健康にも影響しますので、参加選手が着用する柔道衣のサイズやゼッケンの縫いつけ、また体重の管理などは各校の顧問の先生方で事前指導し、確認をお願いします。
- (11) 参加受付は第3試合場で行う。

- (12) 柔道精神に反する選手は大会への出場を停止する。
- (13) 柔道選手らしからぬ髪型（パーマ，剃り込み，染色・脱色，異常なかりあげ等）や眉（剃り込み・剃り上げ）の認められる選手の出場は認めない。
- (14) 男子選手の更衣・荷物置き場としては観客席を使用する。女子選手の更衣・荷物置き場としては更衣室を使用する。
- (15) ゴミは各自持ち帰るものとする。
- (16) 1Fは素足（上履きを使用しない）とし，下足は各自管理する（上履き下足箱は使用しない）。
- (17) 館内でのフラッシュ撮影は競技の妨げになるため禁止する。
- (18) 撮った写真などはSNS，インターネットにアップしない。
- (19) 大会の衛生について

新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して参加者の安全安心を第一に考え，全日本柔道連盟，宮城県柔道連盟，宮城県中学校体育連盟，宮城県武道館等からのガイドライン，大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドラインに基づき大会運営を行う。大会関係者は，武道館，試合会場に入場する際は必ず設置されている消毒剤で手指消毒を行い，マスクを着用する。選手は，練習，試合以外ではマスクを着用し，試合場に入場する際，足消毒マットを踏んで足の消毒も行う。審判員はマスクを着用する。なお，大会登録選手は練習・試合を行う際には，クリアファイル・ジップロック等にマスクを入れて管理する。（クリアファイル等は各校で準備し，学校名，氏名が見えるように記入させ，顧問が必ず確認する。

- (20) 会場の入場について

武道館1階観客入口から入場する。生徒だけで入場せず，必ず引率の教員・保護者スタッフ・保護者と一緒に入場し，受付で，顧問が健康チェックシート（様式1-1），体調記録表は必ず提出し，初心者への大会参加に関する同意書がある生徒は提出する。その後に検温が終了してから入場し，2階の観客席へ進む。役員は1階玄関から検温後に入場する。

- (21) 待機所や応援について

選手は待機所ではマスクを着用し，なるべく密にならない状態をつくる。コロナ対策の一環として，声を出しての応援・声援は禁止とする。ただし，試合が中断している時の監督からの指示は認める。

- (22) 柔道衣・計量について

柔道衣は，IJF認証のものを着用する。洗濯（消毒）がされていて衛生上，問題のないものを着用する。サポーターも同様である。計量は当日計量である。

- (23) 試合について

時間短縮のために，相手が棄権の場合，勝ち名乗りは省力する。

- (24) 消毒について

試合場係中心で行う。

- (25) 監督会議・開会式・開始式・表彰式・閉会式について

監督会議は第3柔道場で行う。

開会式・閉会式は行わず，2日間とも開始式，表彰式を簡略して行う。開会式を行わないため，優勝杯の返還，選手宣誓は行わない。なお，表彰は内規に準じて賞状を授与する。

(26) 昼食について

2階観客席で、対面や密にならないようにし、黙食。守られない場合、試合を止めるなどの措置をする。各校で出したゴミは、必ず持ち帰る。

(27) 体調に異変を生じた生徒がいた場合は、顧問が大会本部へ必ず報告をする。

(28) 試合後について

自分の試合が終わり次第、生徒を出来るだけ帰宅させる。その際、顧問・保護者スタッフは大会運営の仕事があるため、会場に残ることとする。もし、生徒と一緒に帰る必要がある場合は、大会が終わるまで生徒を残す措置をとる。駐車場でトラブルは一切関与しないことを、保護者に周知徹底を行う。なお、生徒は顧問に確認もなく、勝手に帰ることは絶対にさせない。保護者との連絡を密にする。

(29) 駐車券について

顧問と申請している外部コーチ・保護者スタッフには配布する。ダッシュボードに駐車券を見えるように置く。駐車場所は、剣道部会と検討し、抽選会で報告する。今のところ、保護者には1枚配付予定。

(30) 不測の事態が生じた場合、部会長、副部会長、委員長が協議し、対応を決定する。

(31) 一昨年度の各階級の優勝者は以下の通りである。前日準備か大会1日目に返還する。

	団体戦	六郷中学校			団体戦	七郷中学校	
	男子	50kg級	橋本		五城	女子	40kg級
	55kg級	二郷	郡山		44kg級	松谷	TIS
	60kg級	小野寺	八木山		48kg級	山倉	五城
	66kg級	小野寺	八木山		52kg級	上野	青陵
	73kg級	佐藤	中野		57kg級	今野	七郷
	81kg級	庄司	六郷		63kg級	佐藤	七郷
	90kg級	板橋	六郷		70kg級	該当者なし	
	90kg超級	高橋	六郷		70kg超級	横野	七郷

(32) 中総体期間中に大会が開催されない場合、団体戦と個人戦の順番を入れ替える。その場合は、その日に行われる階級の登録選手のみが大会に参加する。※エントリー数によって、階級の変更もある。

- (例) 6/18(土) 午前 男子50kg+女子4階級 午後 男子55kg+女子4階級
 6/19(日) 午前 男子60kg+男子90kg+男子90kg超
 午後 男子66kg+男子73kg+男子81kg
 6/25(土) 男子・女子団体

(33) 「連絡します」とアナウンスがあったなら、練習をやめ、その場に座るように徹底する。

(6) 第46回仙台市中学校新人柔道大会について

1. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
2. 主管 仙台市中学校体育連盟柔道専門部
3. 目的 仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。
4. 日時 令和4年10月 9日(土)～10日(日)

10月 9日(土)	10月10日(日)
【男女団体戦 予選・決勝】 7:00 役員集合・会場準備・点検 8:00 開場 受付 8:20～8:45 男女団体戦 非公式計量 8:45～9:15 公式計量 柔道衣検査 9:15～9:45 監督会議 9:45～9:55 開始式 10:00～ 男女団体戦 競技開始 男女団体戦が終わり次第 男女団体戦表彰式 ※エントリー数によって、試合方法の変更あり	【男女個人戦】 7:00 役員集合・会場準備・点検 8:00 開場 受付 8:20～8:45 男女個人戦 非公式計量 8:45～9:05 公式計量 柔道衣検査 9:05～9:35 監督会議 9:35～9:45 開始式 9:50～ 男女個人戦 競技開始 男女個人戦が終わり次第 男女個人戦表彰式 表彰式が終わり次第、会場撤収 ※エントリー数によって、試合方法の変更あり

5. 会場 宮城県武道館(仙台市太白区根岸町15-1 TEL249-1216)
6. 参加資格
 - ① 各学校長の責任の上、選手に参加の意思を確認し、保護者から承諾を得たうえで、大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン(PDF)に沿って、下記を提出した生徒であること。(感染拡大予防ガイドラインは仙台市中学校体育連盟webサイトよりダウンロード。)
 - i 健康チェックシート(様式1-1, 大会当日受付に提出)
 - ii 学校同行者一覧表(様式1-2, 大会一週間前までに委員長までデータで提出)
 - iii 参加同意書(様式2, 大会前までに学校長へ提出)
 - iv 体調記録表(柔道部会が独自に定めた様式, 大会当日受付に提出)
 - ② 大会参加に支障があると判断した際は、無理に参加をさせない。選手が風邪の症状等、体調不良の際は免疫低下が懸念され、新型コロナウイルスに感染する可能性が高まるため休養を優先にし、参加させないよう各校で指導する。
 - ③ 大会当日、体温が37.5℃以上またはせき・だるさ等の体調不良が確認された場合、専門部として入場を認めない場合がある。
 - ④ 仙台市内の中学生で、6ヶ月以上の柔道修行者であること。なお、特に1年生がその条件を満たさない場合があるので、大会に参加する1年生については「初

心者の大会参加に関する同意書」を提出した生徒であること。「初心者の大会参加に関する同意書」は大会当日受付に提出すること。

- ⑤ 個人情報の取り扱いについて次のことに同意すること。大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。

7. 種目

① 男子団体戦

各校1チーム出場。1チーム5名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員3名を登録できる)

② 女子団体戦

各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員2名を登録できる)

③ 男女個人戦 ①エントリーは各階級4名以内とする。

男子 50 55 60 66 73 81 90 90超

女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定()及び国内における「少年大会特別規程」、今大会申し合わせ事項によって行う。柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りを不可とする。(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

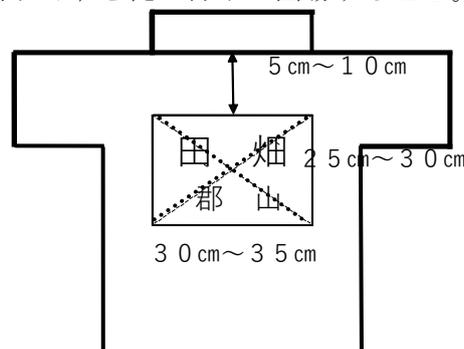
9. 計量及び柔道衣点検

【計量】

- (1) 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。
- (2) 公式計量は1回とし、再計量は一切認めない。
- (3) 公式計量の服装については、男子は下穿き、女子は試合用Tシャツと下穿きとする。※包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
- (4) 公式計量において、不正・偽装行為(競技役員の手指示なく、体重計から降りる等)が競技役員によって確認された場合、該当選手を失格とする場合もある。

【柔道衣点検】

- (1) 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(新規格の赤色のマーキングのもの)
- (2) 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
 - ① 布地は白(晒, 太綾)とする。
 - ② サイズは横30~35cm, 縦25~30cmとする。
 - ③ 名字(姓)は上側2/3, 学校名は, 下側1/3とする。
 - ④ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
 - ⑤ 文字色は, 男子は黒色, 女子は濃い赤色とする。
 - ⑥ 縫い付け場所は襟から5cm~10cm下部の位置で, 周囲と対角線



を強い糸で縫い付ける。

- (3) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖・丸首・無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程(平成25年4月1日より施行)に準ずる。

- (4) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

- (5) 胸マーキング等について、道場名等は不可とする

※ この際、柔道衣が規定に合わない、ゼッケンの対角線縫いがないなど、不備がある場合は失格となる。事前に各学校においても顧問の先生から出場選手へのご指導の徹底をお願いいたします。

※ 袖や裾が長い場合、折り返して縫い付ける柔道衣が見られますが、認められない。

10. 競技方法 (1) 団体戦

- ① 男女とも、参加チームによる予選リーグ方式を行い、各組の上位チームによってトーナメント方式を行う。(参加校数により変更あり)
- ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
- ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。
- ア 記録本部に提出する。
- イ 委員長に提出。
- ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。
- ※ ただし、提出締切は以下の通りとする。
- i アは、試合開始の1試合前までとする。ただし、連戦の場合、決勝トーナメント1試合目、準決勝、決勝は試合が始まる前までに提出する。
- ii イ、ウは、試合が始まる前までとする。ただし、準決勝、決勝は除く。
- ⑤ 試合時間は3分間とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑥ 勝敗の基準は、「一本」、「技あり」または「僅差(指導差2)」以上とする。
- ⑦ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

- ⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦では、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。

- ⑨ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う）。
- ⑩ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

(2) 個人戦

- ① 各階級トーナメント方式とする。
- ② 試合時間は3分間とし、**延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。**
- ③ **優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2以上）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合、「指導」の差がついた時点で勝敗を決する。**

11. 引率及び監督等

- (1) 監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員（※1）とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること。
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 他校と兼務していないこと。
- ④ 中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。
- ⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでの「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

- ⑥ 部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」（※2）がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務第2 留意事項(3)(4)より。

- (2) 大会では外部コーチをおくことができる。ただし、外部コーチは出場校の校長が認めたものとし、令和4年「外部コーチ申請書」を申請したもの。コーチの条件とは次の通

りである。

- ① 当該校の校長が認めた者。
- ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導していた者。
- ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- ④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。
- ⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※ 大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。

(3) 健康チェックシート（様式1-1）を大会当日に提出すること。

12. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、**8月29日（月）16：45**まで必着で、仙台市立郡山中学校・田畑宛てにデータ・原本をC4thで提出。C4thが導入されていない学校は、郡山中のメールに送ること。

13. 抽選会 9月8日（木） 午後3：00～ 於 仙台市立鶴谷中学校

14. 大会参加費 一人700円とする。（抽選会時）

15. 表彰 (1) 男子・女子団体戦

優秀校は、男女とも第3位まで表彰する。今大会の結果は、県大会のシードに反映する。なお、出場チーム数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

(2) 男子・女子個人戦

優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。なお、出場人数が少ない場合には、部会の内規に準じて行う。

出場選手が少ない場合の団体の表彰（内規）

参加者数5チーム以上	参加者数4チーム	参加者数3チーム	2位まで表彰
3位（ベスト4）まで表彰	3位まで表彰	2位まで表彰	1位まで表彰

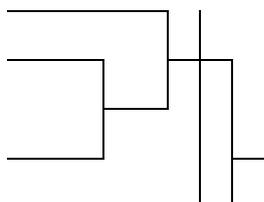
出場選手が少ない場合の個人の表彰（内規）

参加者数8名以上	参加者数7名～3名	参加者数2名～1名
3位（ベスト4）まで表彰	2位まで表彰	1位のみ表彰

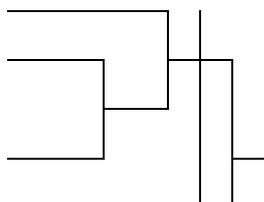
<内規の基準>

- ・入賞選手を決定するための決定戦は行わない。
- ・7名以下の場合の表彰は以下の通りとなる。

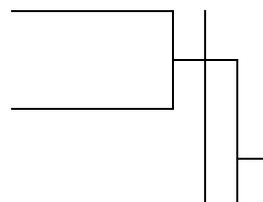
●参加選手7名→2位まで

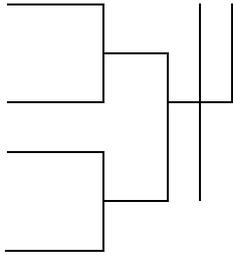


●参加選手6名→2位まで

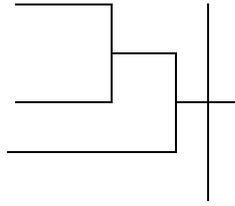


●参加選手5名→2位まで



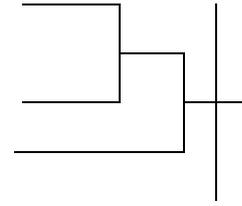


●参加選手4名→2位まで

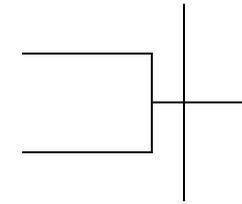
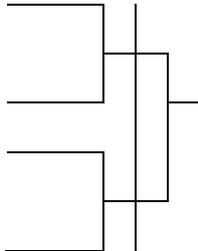


●参加選手3名→2位まで

リーグ戦



●参加選手2名→1位のみ



※ 棄権により人数が少なくなった場合でも大会にエントリーした選手の数に即して表彰を行う。

(例) 当初8名だった(トーナメント表には8名の図がある)が、棄権により7名になった場合には、3位(ベスト4)まで表彰を行う。

16. その他

- (1) 監督・コーチの先生方の服装は、審判に準ずる服装とする。
- (2) 各校において選手の登録については「大会参加に関する同意書」において選手・保護者の大会参加への同意を得ることとする。また、大会10日前からの体調について体調記録表に記載したうえで、顧問・選手・外部コーチ分を顧問が一括して各入口で提出し、確認ができた学校から入場とする。(大会役員を兼務する顧問は、選手等と入館する際に提出。)
- (3) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - ① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚、至急専門医の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。
- (4) 今大会は各学校保護者2名参加を認め、大会役員、出場選手、部会長が認めた者以外入場させない。※コロナウイルスの感染状況で無観客になる可能性もあり得る。
- (5) 大会参加前に参加予定校において新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、必ず仙台市柔道専門部委員長へ報告することとする。
- (6) 駐車場での事故等に関しては一切の責任を負わない。
- (7) 外部コーチ申請書を提出した顧問の先生は、大会当日の外部コーチの出欠を確認し、大会一週間前までに、郡山中の田畑まで報告を必ずお願いいたします。
- (8) 大会の進行や選手の健康にも影響しますので、参加選手が着用する柔道衣のサイズやゼッケンの縫いつけ、また体重の管理などは各校の顧問の先生方で事前指導し、確認をお願いします。
- (9) 参加受付は第3試合場で行う。

- (10) 柔道精神に反する選手は大会への出場を停止する。
- (11) 柔道選手らしからぬ髪型（パーマ，剃り込み，染色・脱色，異常なかりあげ等）や眉（剃り込み・剃り上げ）の認められる選手の出場は認めない。
- (12) 男子選手の更衣・荷物置き場としては観客席を使用する。女子選手の更衣・荷物置き場としては更衣室を使用する。
- (13) ゴミは各自持ち帰るものとする。
- (14) 1Fは素足（上履きを使用しない）とし，下足は各自管理する（上履き下足箱は使用しない）。
- (15) 館内でのフラッシュ撮影は競技の妨げになるため禁止する。
- (16) 撮った写真などはSNS，インターネットにアップしない。
- (17) 大会の衛生について

新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して参加者の安全安心を第一に考え，全日本柔道連盟，宮城県柔道連盟，宮城県中学校体育連盟，宮城県武道館等からのガイドライン，大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドラインに基づき大会運営を行う。大会関係者は，武道館，試合会場に入場する際は必ず設置されている消毒剤で手指消毒を行い，マスクを着用する。選手は，練習，試合以外ではマスクを着用し，試合場に入場する際，足消毒マットを踏んで足の消毒も行う。審判員はマスクを着用する。なお，大会登録選手は練習・試合を行う際には，クリアファイル・ジップロック等にマスクを入れて管理する。（クリアファイル等は各校で準備し，学校名，氏名が見えるように記入させ，顧問が必ず確認する。

- (18) 会場の入場について

武道館2階観客入口から入場する。生徒だけで入場せず，必ず引率の教員と一緒に入場し，受付で，顧問が健康チェックシート（様式1-1），体調記録表は必ず提出し，初心者の大会参加に関する同意書がある生徒は提出する。その後に検温が終了してから入場し，観客席へ進む。役員は1階玄関から検温後に入場する。

- (19) 待機所や応援について

選手は待機所ではマスクを着用し，なるべく密にならない状態をつくる。席は1つおきに座る（使用禁止には座らない）。コロナ対策の一環として，声を出しての応援・声援は禁止とする。ただし，試合が中断している時の監督からの指示は認める。

- (20) 柔道衣・計量について

柔道衣は，IJF認証のものを着用する。洗濯（消毒）がされていて衛生上，問題のないものを着用する。サポーターも同様である。計量は当日計量である。

- (21) 試合について

時間短縮のために，相手が棄権の場合，勝ち名乗りは省力する。

- (22) 消毒について

試合場係中心で行う。

- (23) 監督会議・開会式・開始式・表彰式・閉会式について

監督会議は第3柔道場で行う。

開会式・閉会式は行わず，2日間とも開始式，表彰式を簡略して行う。開会式を行わないため，優勝杯の返還，選手宣誓は行わない。なお，表彰は内規に準じて賞状を授与する。

(24) 昼食について

2階観客席で、対面や密にならないようにし、黙食。守られない場合、試合を止めるなどの措置をする。各校で出したゴミは、必ず持ち帰る。

(25) 体調に異変を生じた生徒がいた場合は、顧問が大会本部へ必ず報告をする。

(26) 試合後について

自分の試合が終わり次第、生徒を出来るだけ帰宅させる。その際、顧問は大会運営の仕事があるため、会場に残ることとする。もし、生徒と一緒に帰る必要がある場合は、大会が終わるまで生徒を残す措置をとる。保護者が迎えにくる場合は、武道館側に車を停車させる。数に限りがあるので、お互いのことを思いやって行動する。駐車場でのトラブルは一切関与しないことを、保護者に周知徹底を行う。なお、生徒は顧問に確認もなく、勝手に帰ることは絶対にさせない。保護者との連絡を密にする。

(27) 駐車券について

顧問と申請している外部コーチには配布する。ダッシュボードに駐車券が見えるように置く。今のところ、保護者には駐車券を配布する予定はない。

(28) 不測の事態が生じた場合、部会長、副部会長、委員長が協議し、対応を決定する。

(29) 一昨年度の各階級の優勝者は以下の通りである。前日準備か大会1日目に返還する。

	団体戦	六郷中学校			団体戦	六郷中学校	
	男子	50kg級	北岡		岩切	女子	40kg級
	55kg級	佐藤	岩切		44kg級	濱田	六郷
	60kg級	船田	岩切		48kg級	該当者なし	
	66kg級	小野寺	八木山		52kg級	上野	青陵
	73kg級	佐々木	将監東		57kg級	唘	郡山
	81kg級	村上	六郷		63kg級	該当者なし	
	90kg級	金子	郡山		70kg級	該当者なし	
	90kg超級	奥田	郡山		70kg超級	該当者なし	

(30) 新人戦期間中に大会が開催されない場合、その日に行われる階級の登録選手のみが大会に参加する。※エントリー数によって、階級の変更もある。

(例) 10/16(土) 男子・女子団体

10/17(日) 午前 男子50kg+女子4階級 午後 男子55kg+女子4階級

10/23(土) 午前 男子60kg+男子90kg+男子90kg超

午後 男子66kg+男子73kg+男子81kg

(31) 「連絡します」とアナウンスがあったなら、練習をやめ、その場に座るように徹底する。

(7) 令和4年度 共通確認事項

1. 県中総体出場枠について

令和4年度市中総体出場校の数は、以下のとおりです。

	男子	女子
団体	2校	3校
個人	各階級4人	各階級5人

<出場基準>

(1) 団体戦

男子は5校増えるごとに1校増。参加校10校より、2校出場。女子は参加校3校までの場合、出場校2校出場。4校以上の場合は3校増えるごとに1校増。参加校4校より、3校出場。

(2) 個人戦

男子は7校増えるごとに1名増。参加校22校より、各階級4名出場。女子は参加校3校までの場合、各階級2名出場。3校増えるごとに1名増。参加校12校より、各階級5名出場。ただし、男女とも県新人で決勝に進出した学校が属する地区からは、その人数に応じて出場枠が増える。

【令和4年度県中総体出場枠】

男子	団体	2							
	個人	50 kg	55 kg	60 kg	66 kg	73 kg	81 kg	90 kg	90超
		4	4	4	4	4	4	4	4
女子	団体	3							
	個人	40 kg	44 kg	48 kg	52 kg	57 kg	63 kg	70 kg	70超
		5	5	5	5	5	5	5	5

※ 仙台市の大会を経ていない選手（試合場にあがっていない選手＝計量を経ていない選手）は、県大会に出場できない。

2. 表彰規定

(1) 男子・女子団体

優秀校は、男女とも第3位まで表彰する。ただし、出場チーム数が少ない場合には、部会で表彰チーム数を定める。

<内規の基準>

出場選手が少ない場合の団体の表彰（内規）

参加者数5チーム以上	参加者数4チーム	参加者数3チーム	2位まで表彰
------------	----------	----------	--------

3位（ベスト4）まで表彰	3位まで表彰	2位まで表彰	1位まで表彰
--------------	--------	--------	--------

(2) 男子・女子個人

優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。ただし、出場人数が少ない場合には、部会で表彰人数を定める。

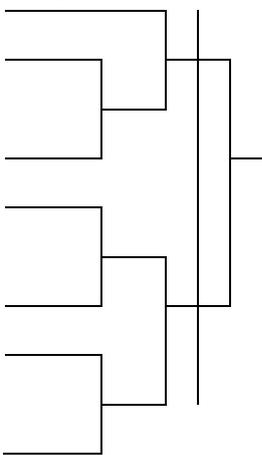
<出場選手が少ない場合の表彰（内規）>

参加者数8名以上	参加者数7名～3名	参加者数2名～1名
3位（ベスト4）まで表彰	2位まで表彰	1位のみ表彰

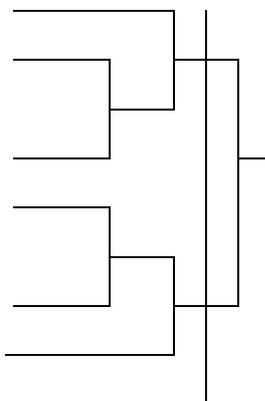
<内規の基準>

- ・入賞選手を決定するための決定戦は行わない。
- ・7名以下の場合の表彰は以下のとおりとなる

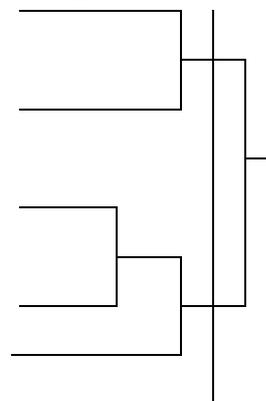
●参加選手7名→2位まで



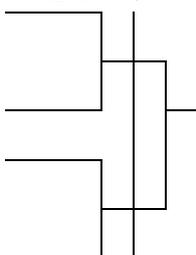
●参加選手6名→2位まで



●参加選手5名→2位まで



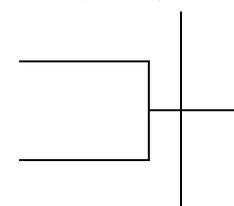
●参加選手4名→2位まで



●参加選手3名→2位まで

リーグ戦

●参加選手2名→1位のみ



<確認>

※ 棄権により人数が少なくなった場合でも大会にエントリーした選手の数に即して表彰を行う。

(例) 当初8名だった（トーナメント表には8名の図がある）が、棄権により7名になった場合には、3位（ベスト4）まで表彰を行う。

3. 団体戦で参加チーム数によって以下のとおり決定する。

- (1) 5チーム以下の場合 →総当たりリーグ戦。
- (2) 6チーム以上の場合 →予選リーグ。決勝トーナメント進出。

中総体の運営方針

現在、宮城県武道館は制限をかけていない。コロナ対策をしっかりとしていたら OK という方針。そこで柔道部会の人数制限を以下の通りにする。

- ① 観客席が 366 席ということで、MAX366 名にする。
 - ② 上記の人数は大会関係者（審判・接骨ボランティア・監督・外部コーチ等）・生徒・保護者を含めたものとする。
 - ③ 各学校から 1 名、保護者から大会サポート（以下保護者サポートとする）派遣する。なお、保護者サポートを派遣できない学校の保護者の入場は認めない。
 - ④ 大会関係者には保護者サポートは含まれる。大会役員と同じようにネームプレートをつける。なお、大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせる事もある。その際は、他の保護者が代替する。
 - ⑤ 大会関係者・生徒の人数が決まり次第、各学校の保護者の人数を均等に決める。
残りの人数÷学校数
 - ⑥ 保護者の人数は抽選会時 5 月 11 日（水）に確定する。そのため、保護者サポートあり（氏名）なし（×）を申込書に記載する。なお、保護者サポートは大会一週間前までなら変更は可とする。ただし、保護者サポートが出せなくなった場合、その学校の保護者の入場は認めない。
 - ⑦ 保護者は大会一週間までに決定し、同行者一覧を委員長まで提出する。
 - ⑧ 駐車券は大会関係者分発行する。各校保護者分の 1 枚も発行する。駐車場は剣道部会と協議中。
- ※ コロナウイルス感染症拡大などの場合は、無観客もあり得る。その際は大会関係者の保護者サポートを入場させるか再度検討する。
人数を減らす場合、以下のとおりとする。
- ①保護者、②保護者サポート、③大会参加以外の生徒